



人同協だより

平成 27 年 11 月 30 日 発行 常磐地区人権・同和教育推進協議会

平成 27 (2015) 年度 常磐地区人同協の事業 鋭意推進中!

～ 本号は、主として取り組み中の事業について報告をいたします～

1. 「笑顔でつなげるまちづくり」城西町 地区懇談会より

加藤自治会長のコメント

我々のまち城西町は、松本街道を挟み、住宅、商業、学校などが混在しています。近年、アパート・マンションの新築により人口が急増しています。このような環境の中で、住民間での人権を尊重し、支え合う気持ちが薄らいでいると言えます。

自治会活動として、地区懇談会を実施していますが、住民の皆様が人権を考える大切な行事です。多くの住民が参加されて、実直な意見交換のもとで、住民同士の助け合う精神が育まれることが望まれます。地区懇談会の充実に努め、より住みよいまちづくりに励みます。



会長 加藤凱彦さん

・10月24日(土)城西町集会所にて、赤堀人権のまちづくり推進委員会のコラソン代表者鈴木茂見さんの進行で、参加型地区懇談会にチャレンジしました。

まず、参加者21名が3班に分かれて、*アイスブレイクで頭をほぐした後、ビデオ「家庭の中の人権」(人権センターより借用)から、テーマ「イクメンは変ですか」と、「親の介護をするのは誰か」を視聴しました。(*緊張をときほぐすための手法)

そのあと、『この2つのテーマをどう思いますか?』について約20分間、各班で話し合いました。最後に、各班の代表者よりその班の話し合いのまとめを発表して、懇談結果の共有を図りました。(下に各班から発表されたコメントの一例を示します)

城西町では初めての参加型地区懇談会でした。「身近な人権の話し合いが出来て良かった」と会員の方や見学された他地区の自治会長からも評価をいただきました。参加型で本来の地区懇談会が広まると良いと思いました。



～ 班別に話し合い(城西町集会所にて)～

～ 各班の懇談結果より(一例)～

- A班: 育休は取りにくいが外資系企業はスムーズ。限度があり施設にお願いすることになる。
- B班: 大手企業と中小企業とでは違いがある。施設が充実してきたので利用することになる。
- C班: 主人に働いてもらわないと収入減になる。女性が介護する方が良いのでは。

「イクメンは変ですか」(イクメンとは育児する男子)

「親の介護は誰がする」

(この項は自治会長の加藤凱彦さんと自治会員の方から寄稿いただきました)

2. 平成 27 年度の視察研修は「宝暦治水と薩摩義士」を中心に実施

・9月5日(日)常磐地区市民センターからバスに分乗して、桑名市海蔵寺 海津市治水神社 千本松原 桑名市七里の渡し跡 桑名市六華苑の順で視察研修を行いました。

なお、往路の車中研修は、四日市市人権センターの講師(光本り糸氏)により「四日市市民人権意識調査の結果から見えること」についての解説をしていただきました。



桑名市 海蔵寺本堂にて「桑名市歴史案内人の会」から宝暦治水と薩摩義士の説明を聞く

桑名市海蔵寺は宝暦治水と言われている木曾三川治水事業に当たった薩摩藩士「平田鞠負」^{ゆきえ}他 21 基の供養塔(墓石)が現存し、市指定史跡になっています。本堂にて桑名歴史案内人の多儀正一さんから「宝暦治水と薩摩義士」の詳しい話しを聞くことが出来ました。

この様子はバス内で記入願った参加者のアンケート感想文(原文のまま)に示されています。

薩摩藩が治水工事をしたということは知っていましたが、近いところにありながら治水神社へも初めて行きました。ボランティアガイドさんより工事の苦勞と工事が終わったあとも薩摩へ戻ってからも差別されたり、苦勞をされたと聞きました。大変だったことがよく分かりました。薩摩義士の苦勞がひしひしと身に迫ってきた。他地域に助けられた恩は本当に大事に、この出来事を語り伝えて行かなければならないと思った。海蔵寺で幕府の命令で薩摩の義士が美濃と三重を流れる川を整備してくれた仏様を、おまいりさせていただきました。お墓も、きれいにまつられ、やすらかにねむっていられることでしょう。



桑名市 治水神社前にて 参加者全員の集合写真(写真・高島昭仁氏 提供)

3 .第 49 回 三重県人権・同和教育研究大会が四日市で開催されました。

・ 10月17日(土)～18日(日)の両日、第49回三同教大会が四日市市内の会場で開催されました。この内、中央緑地体育館会場の「全体会と地元報告(10月17日午後)」の一部を報告します。

全体会では、来賓の東員町長水谷俊郎さんのお話が印象的でしたので要約します。



『東員町では、今年4月から*農・福連携と言って企業の方に来ていただいて、障がい者の皆さんに農業で働いてもらう場所を作りました。

ハローワークを通して10名の募集を掛けたのですが、いま働いているのは4名です。知り合いの障がいのある子をもっている親に、参加させてくれないかといいましたが、1人は「うちの子はそんなこと出来る訳がない」もう1人は「うちの子は

そんなことせんでもええ、俺が守(もり)していく」と言いました。

この農・福連携に私は何回も行きました。知的障がいの非常に重い子、本当に働けるのかなと、開所式の時に思った子が今、輝いている！生き生きと仕事をしています。そして「自分の好きなことができる」「毎日働きに来る事が楽しい」こんなことを言って毎日働いています。1日6.5H働いて月10万円以上になります。

10名のところ4名しか来ない。なぜか？これは一番解っている筈の親が「壁」になっている。障がいのある子たちが、本当に働けることをこの4人が実証して見せている。これは福祉の問題ではなく「人権」問題です。必ず働ける、そして能力を出せるのに働かせない、これが人権問題じゃなくて何であるか？

親を1人でも2人でも説得して「子どもたちが特別な生活でなく、普通の生活が出来ること」東員町は、そんな社会づくりを目指して行きたいと思っています。』

*耕作放棄地を活用した障がい者と地元の農業経験者が連携して取り組む事業

地元報告は、全体会あとのステージ発表で最初に「太鼓演奏」が行われました。

出演は人権プラザ赤堀で活動している太鼓「ゆう」と、ジュニア太鼓クラブでした。第34回三同教大会でも同じ場所の四日市中央緑地体育館で演奏したそうで15年ぶり！

『社会矛盾への反発・怒りそして希望、様々な思いを太鼓の響きに込め、ともに差別をなくす仲間になるために、多くの人ともつながりながら今日まで活動を続けてきました。また、次世代にもつなげるために、ジュニア太鼓クラブの指導にもあたってきました。(中略)子どもたちの明るい未来のため、そして差別を

なくすために、わたくしたちは今後も活動を続けて行きたいと思えます。』と、鈴木有紀さんが代表して力強く報告しました。



太鼓演奏の後、スピーチする
鈴木有紀さん



4. 公募人権標語・常磐まつり「人権の広場」で作品の表彰式開催



人権啓発標語入賞のお友達

・11月1日(日)に開催された「常磐まつり」へ人権プラザ赤堀など関係団体と共に、「人権の広場」会場を設営して、人権啓発を実施しました。内容は、人同協で公募した人権啓発標語入賞作品の展示と表彰式をはじめ、常磐地区子ども人権文化育成協議会「すくらむ」の人形劇発表や作品ほかで、多数の参観者で賑わいました。

人権啓発標語入賞作品紹介

平成27年度「人権啓発標語」の選考会(9月30日)により入賞された作品を紹介します。

1) 常磐小学校の部(敬称略)

【最優秀賞】	なやんだら 話してみよう 友達に	小池 亜凜
【優秀賞】	自分から「笑顔」という名の 種まこう	宮原 彩花
【佳作】	いじめNO! ココロのキズは 奥深い	曽根原 由准

2) 常磐西小学校の部

【最優秀賞】	やさしさは みんなも自分も 強くする。	杉山 流准
【優秀賞】	一言で 相手の人生 変えるかも	後藤 遼向
【佳作】	周り見て 気づけ感じろ いじめや差別	岩瀬 真大

3) 常磐中学校の部

【最優秀賞】	考えよう 軽い一言 深い傷	川崎 真奈
【優秀賞】	みんなの手 いっしょにつなげば 大きな輪	伊達 柚葉
【佳作】	人と人 つなく言葉は ありがとう	村田 優作

4) 一般の部

【最優秀賞】	あたたかな 心と行動 地域のわ	武藤 幹持
【優秀賞】	つながって みんなで見守る ときわの力	川村 照代
【佳作】	地域の見守り 一声かけて つなげよう	川村 浩

5. 人権のオアシスひろば (読者の寄稿) ~安心して暮らせる町は挨拶から~

幼い頃、外で遊んでいると近所の人達が、よく声を掛けてくれたのを覚えています。叱られたりもして、イヤな時もあったけど、顔見知りの人に声を掛けてもらえる事で安心して過ごせていた事を思い出します。

あれから30年程経ち、今では3人の子を持つ親となりました。昔、声を掛けてくれた大人の様に振る舞おうと思い、通勤の道や、散歩道で、すれ違う人に自分から挨拶するのも、簡単ではありませんでした。気持が弱く小さい声になったり、返事がないと辛い気持ちになります。たかが挨拶ですが、思ったよりも難しい事でした。

こどもの未来を考える時、この町が安心して暮らせる平和な町であり続けて欲しいと強く願います。そうである為にも、自ら挨拶をし、人々に安心を与えられる大人になろうと思います。昔、声を掛けてくれた近所の方々が目標とする大人です。(常磐西小学校PTA 伊藤 貴俊)

編集後記 「人同協だより」本年度2号をお届けします。今夏から秋口に掛けての人同協事業実施状況を中心にしてまとめました。なお、年内の行事予定は、12月22日(火)午後7時より常磐地区市民センター2F大会議室にて『人権講演会』を開催予定です。講師は、津市在住落語家 切磋亭琢磨(せっさていたくま)さんです。年間計画は「人権コンサート」でしたが「人権講演会」に変更となりました。(書記 川村 浩)